

競技課目

ZPr (服従)

(1) 紐無脚側行進

往路 A→D 常歩 復路 D→A 速歩

(2) 常歩行進中の立止

A地点より常歩行進中指導手は歩度を変えず(イ)で「立止」を命じる。B地点で反転し犬に
対面し停止する。指示により犬のもとに戻り、犬の右側に立って指示で脚側停座させる。

(犬のもとに戻るときは、立止している犬に向かって右側から後方を回って脚側停座させる。)

(3) 常歩行進中の伏臥

常歩行進中(ロ)で指導手は歩度を変えず犬に「伏臥」を命じる。そのまま(C)地点まで
行き、犬に対面し停止する。指示により犬のもとに戻り、犬の右側に立って脚側停座させる。

(4) 待座及び招呼

続いて常歩行進で脚側行進を行い、(ハ)で一旦停止し
「停座」を命じ犬を待座させ、そのままD地点まで行き
犬に対面する。指示で犬を招呼する。犬は指導手の直前
に停座し、声符「アトエ」で脚側停座させる。

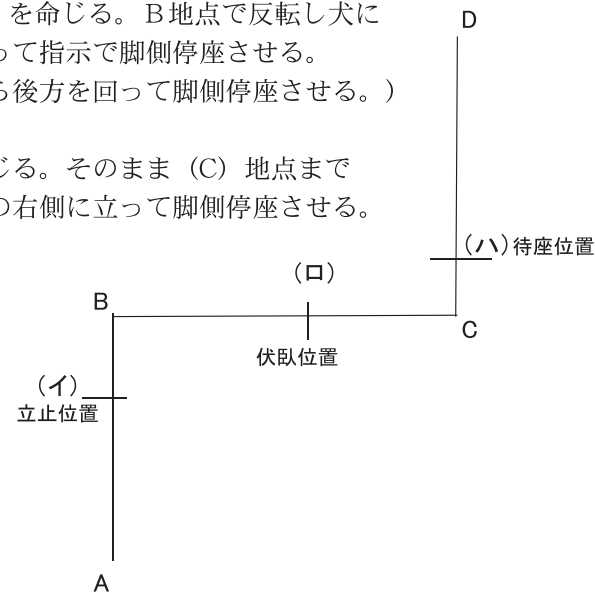
(または直接脚側停座しても良い。)

(5) 物品持来

A地点で脚側停座させ、指示でダンベルを前方8m投げ、
審査員の指示で持来させ、対面停座させ、指示で受け
取り脚側停座させる。

(6) 高さ80cm障害飛越(片道) 大型犬以外は概ね犬の体高の1.2倍

任意の地点で停座させ、指示で飛越させ立止を命じ、停止後犬のもとに戻り、右側に立って
指示で脚側停座させる。



CDJ

※すべて紐付きとする。

(1) 紐付脚側行進

往路 A→D 常歩 復路 D→A 常歩

(2) 伏臥(停座中指示)

A地点に停座している犬に指示により指導手は「伏臥」を命じ、3秒後指示により脚側停座
を命じる。

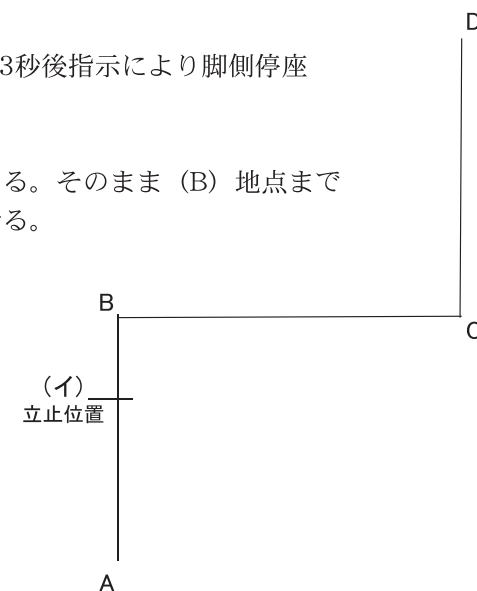
(3) 常歩行進中の立止

常歩行進中(イ)で指導手は一旦立ち止まり犬に「立止」を命じる。そのまま(B)地点まで
行き、反転して犬のもとに戻り、犬の右側に立って脚側停座させる。

審査員の指示により、廻れ右をして脚側停座を命ずる。

(4) 待座及び招呼

(イ)で脚側停座している犬に指示により「待座」を命じ、
指導手は(A)地点まで行き廻れ右をして犬と対面する。指示で
犬を招呼する。犬は指導手の直前に停座し、声符「アトエ」で
脚側停座させる。(または直接脚側停座しても良い。)



服従 (ビギナークラス)

※すべて紐付きとする。

(1) 紐付き脚側行進(往復 常歩)

犬にリードを付け45歩(15歩・15歩・15歩)のクランク型のコースを
脚側行進する。往路復路共に常歩とする。

指導手は、スタート地点で脚側停座をさせ審査員の指示により常歩で出発をし
折り返し地点で止まることなく常歩でスタート地点へ戻り脚側停座させる。

(2) 停座

審査員の指示によりスタート地点で停座を命じリードの範囲で離れ犬と
対面する。

審査員の指示により犬の元へ戻り脚側がわに入る。

(3) 伏臥・立止

審査員の指示によりスタート地点で「伏せ」又は「立止」命じリードの
範囲で離れ犬と対面する。

審査員の指示により犬の脚側がわに戻り停座させる。

追求専科(自臭)

※制限時間5分

①指導手自身による約120歩の足跡線2屈折とし、若干の伸縮をすることもある。

②遺留物品は、終点1個(起点に物品を置いて2個でも良い)

遺留物品の大きさ:<基本>長さ10cm、幅2~3cm、厚さ0.5~1cmの木片を指導手が
準備する。

③搜索紐は10mとする。

審査員のもとで脚側停座をさせ、申告を行う。犬が遺留物品を「啜え上げる」か「ポイントする」
か又、搜索紐を離して追求するか、搜索紐の末端を指導手が持って追求するかは選択制とし、
審査員に申告する。

屈折は直角に2回とし、終点に物品を置き、なるべく風下を迂回して犬の所に戻る。但し、
第1コースは原則として、約40歩以上とする。作業開始は印跡終了後、一定時間を定めて
審査員の指示で開始する。

首輪、又は胴輪に搜索紐をつけて起点に至り、遺留してある物品の臭気を取らせた後、
追求動作に入る。搜索紐が伸び切らないうちは追求のやり直しは認めるが、搜索紐が伸び切っ
た後は、やり直しは認めない。

選別専科(自臭)

指導手は犬を出発点に伴い、選別台に対し反対向きに脚側停座させ、審査員の指示を待つ。
自己の体臭付着物品1個(唾液・犬臭等をつけてはならない)とともに他人臭同一人の誘惑
物品(1種もしくは2種)4個を、約10m前方の選別台上に配置する。審査員の指示により
反転し犬を脚側停座させる。本臭物品(原臭)を嗅がせ、選別台に向けてスタートさせて作業
を開始する。犬が物品の所在を発見するまでは、声視符による方向指示をしても良いが、
犬が物品の所在を発見したら、一切の声視符を禁ずる。但し、犬が物品を完全に啜え上げた
ならば招呼する。物品の配置を変えて(審査員の指示による)原則として4回実施する。